

中国社会文化学会ミニシンポジウムのお知らせ

科研（基盤S）との合同企画で、下記のような例会（ミニシンポジウム）を開催します。会員のかたはもとより、非会員でお知り合いの方にもお声がけのうえご来会下さい。

テーマ：「人文情報学と中国古典研究、その現状と課題」

開催趣旨：コンピュータ技術の発展とデータベースの充実、インターネットの普及とによって、中国古典研究の手法はこの20年で劇的に変化した。人文情報学(Digital Humanities)の観点から2015年現在の状況を把握し、今後の展望とそれによって可能となる研究の新たな地平について議論を深めたい。

主催 中国社会文化学会

科研基盤S「仏教学新知識基盤の構築—次世代人文学の先進的モデルの提示」
(代表：下田正弘)

日時 2015年11月28日(土) 15:00～18:00

場所 東京大学文学部115番教室

報告者

谷口 洋(東京大学大学院総合文化研究科)
中国学は「情報」とどうかかわってきたか／かかわってゆくのか
——「IT以前」と「IT以後」を見渡しての雑感

佐藤将之(国立台湾大学哲学系)
「IT」環境下における中国思想研究
——過去十年の台湾における経験を中心に

コメンテーター 下田正弘(東京大学大学院人文社会系研究科)

司 会 小島 毅(東京大学大学院人文社会系研究科)